

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社

2018年10月22日

太陽電池パネル用ガラスの米国工場増設地を決定

日本板硝子株式会社(東京都港区、代表執行役社長兼 CEO 森 重樹、以下「NSG」)は、米国で増設する新工場の建設地を決定しましたので、お知らせいたします。新工場は、本年5月に発表した太陽電池パネル用の透明導電膜(TCO: transparent conductive oxide)ガラスの増産計画を推進するものです。

総面積約4.64ヘクタールの新工場は、NSGが長期供給契約を締結したファーストソーラー社の工場近くのオハイオ州トロイ地区に建設され、着工は2019年春、操業開始は2020年後半を予定しています。新工場の用地選定に関しては、州と地元自治体がインセンティブプランを審査中です。米国でNSGが新設するフロートガラス工場としては1980年以降では初めてとなり、現地で125～150人の雇用創出を見込んでいます。

「当社はガラス業界において長年の歴史を持っており、オハイオ州とも強い結びつきがあります。米国の新拠点をこの地に設立できることを光栄に思います」と、建築ガラス事業部門 北米事業部 事業部長のリチャード・アルトマンは述べています。

「世界有数のフロートガラスメーカーであるNSGは、オハイオ州で長年にわたり成功を収めてきました。リージョナル・グロース・パートナーシップ事業と共に、NSGが最新の工場を建設し、成長する太陽光発電市場に関連して新たな雇用をもたらすことを楽しみにしています」と、JobsOhioの先進製造企業担当責任者であるグレン・リチャードソン氏は述べています。

※JobsOhio: ビジネスの誘致、維持、拡大の取り組みにより、オハイオ州での雇用創出と新たな設備投資を促進することを目的とした民間の非営利団体。

日本板硝子株式会社(NSGグループ)は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918年に創業し、グループ従業員数は約27,000人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100カ国以上で製品の販売を行っています。<http://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ先>

広報部：03-5443-9477

IR部：03-5443-0100